

2020年6月17日

会社法第794条第1項に定める事前開示書類
(変更)

東京都港区赤坂五丁目2番20号
株式会社WOWOW
代表取締役 田中 晃

当社は、株式会社WOWOWプラス（以下「分割会社」といいます。）との間で2020年5月15日に締結した吸収分割契約書に基づき、2020年12月1日を効力発生日として、吸収分割の方法により、分割会社が「シネフィルWOWOW」のBSデジタル放送事業に関して有する権利義務の一部を承継することとし、2020年6月8日付で、会社法第794条第1項及び会社法施行規則第192条により事前開示書類を備置しておりますところ、かかる事前開示書類のうち、「別紙2」（分割会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容）を本書面添付の別紙の内容に変更いたします。

なお、当該変更は、2020年6月17日に分割会社の定時株主総会において2020年3月期に係る計算書類等が承認されたことにより、2020年3月期が分割会社の最終事業年度となったことに伴うものです。

以上

別紙 2

計算書類等

第 15 期 計 算 書 類

(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

個 別 注 記 表

監 査 報 告 書 謄 本

株式会社 WOWOWプラス

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,701,890,722	流動負債	669,478,209
現金及び預金	673,548,655	買掛金	491,926,793
売掛金	538,980,641	短期借入金	-
商品及び製品	600,000	未払金	25,543,992
貯蔵品	1,153,301	未払費用	28,966,833
仕掛品	449,219,252	未払事業所税	732,600
前渡金	21,801,375	未払法人税等	27,967,000
前払費用	17,585,439	未払消費税等	16,842,497
短期貸付金	-	前受金	-
未収入金	-	預り金	3,001,482
仮払金	80,000	賞与引当金	53,109,876
立替金	1,900	受注損失引当金	-
その他流動資産	46,670	短期リース債務	21,387,136
貸倒引当金(短期)	△1,126,511	その他流動負債	-
固定資産	239,180,868	固定負債	94,548,446
有形固定資産	81,583,530	長期未払金	934,000
建物付属設備	31,227,861	退職給付引当金	48,746,321
建物減価償却累計額	△20,648,410	長期リース債務	44,868,125
構築物	6,101,930		
構築物減価償却累計額	△5,285,471	負債合計	764,026,655
機械装置	22,464,448	(純資産の部)	
機械装置減価償却累計額	△22,464,428	株主資本	1,177,014,408
器具備品	37,773,700	資本金	100,000,000
器具備品減価償却累計額	△28,466,280	資本剰余金	1,147,598,381
リース資産	603,986,794	資本準備金	100,000,000
リース資産減価償却累計額	△543,106,614	その他資本剰余金	1,047,598,381
無形固定資産	4,311,000	利益剰余金	△70,583,973
ソフトウェア	2,961,567	その他利益剰余金	△70,583,973
電話加入権	1,266,100	繰越利益剰余金	△70,583,973
その他無形固定資産	83,333	評価・換算差額等	30,527
投資その他の資産	153,286,338	繰延ヘッジ損益	30,527
投資有価証券	99,669		
関係会社株式	-	純資産合計	1,177,044,935
長期貸付金	1,000,000	負債・純資産合計	1,941,071,590
長期前払費用	-		
敷金保証金	104,903,300		
破産更生債権	3,216,419		
繰延税金資産(固定)	47,283,369		
貸倒引当金(長期)	△3,216,419		
資産合計	1,941,071,590		

損益計算書

(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
売上高		5,233,170,852
売上原価		3,954,361,002
売上総利益		1,278,809,850
販売費及び一般管理費		1,058,392,375
営業利益		220,417,475
営業外収益		
受取利息及び配当金	75,033	
雑収入	433,000	513,583
営業外費用		
-		
経常利益		220,931,058
特別損失		
固定資産除去損	1	1
税引前当期純利益		220,931,057
法人税、住民税及び事業税	44,986,518	
法人税等調整額	19,323,130	64,309,648
当期純利益		156,621,409

株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)

(単位:円)

	株 主 資 本								純資産額合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金合計	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金計		繰越利益金			
2019年3月31日 残高	100,000,000	100,000,000	1,047,598,381	1,147,598,381		△ 227,205,382	△ 227,205,382	1,020,392,999	1,020,369,779
事業年度中の変動						53,747			53,747
新株発行費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会社分割による承継	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰越欠損金の補填	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	156,621,409	156,621,409	156,621,409	156,621,409
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	53,747	-	-	53,747
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	156,621,409	156,621,409	156,621,409	156,675,156
2020年3月31日 残高	100,000,000	100,000,000	1,047,598,381	1,147,598,381		△ 70,583,973	△ 70,583,973	1,177,014,408	1,177,044,935

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産額合計
	その他 有価証券評価差額	繰延ヘッジ損益	土地評価差額金	評価・換算差額 合計		
2019年3月31日 残高		△ 23,220		△ 23,220		1,253,466,128
事業年度中の変動		53,747		53,747		53,747
新株発行費						
会社分割による承継						
繰越欠損金の補填						
剰余金の配当						
当期純利益						156,621,409
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額(純額)		53,747		53,747		53,747
事業年度中の変動額合計		53,747		53,747		156,675,156
2020年3月31日 残高		30,527		30,527		1,410,141,284

個別注記表

【重要な会計方針に係る事項】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式・・・・・・ 移動平均による原価法

その他有価証券

市場価格のあるもの・・・・・・ 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの・・・・・・ 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価方法および評価基準

仕掛品・・・・・・ 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法)

商品・貯蔵品・・・・・・ 先入先出法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

(3) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の当期負担分について、支給見込額基準により計上しております

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

【会計方針の変更】

該当事項はありません。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:株)

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	2,500,000	-	-	2,500,000
合計	2,500,000	-	-	2,500,000

【リースにより使用する固定資産に関する注記】

貸借対照表に計上した固定資産の他、リース契約により使用している固定資産の主なものは、ホテルペイテレビシステムのVODシステム等であります。

【1株当たり情報に関する注記】

- (1) 1株当たり純資産額 470円82銭
- (2) 1株当たり当期純利益 62円65銭

附属明細書 (計算書類関係)

(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首 取得価額	当期 増加額	当期 減少額	期末 取得価額	期末減価償却 累計額	当期 償却額	差引期末 帳簿価額
有形 固定 資産	建物附属設備	31,227,861	0	0	31,227,861	20,648,410	1,668,137	10,579,451
	構築物	6,101,930			6,101,930	5,285,471	408,229	816,459
	機械装置	23,014,448		550,000	22,464,448	22,464,428	325,341	20
	工具器具備品	33,041,220	4,732,480		37,773,700	28,466,280	5,786,730	9,307,420
	リース資産	581,814,994	41,701,800	19,530,000	603,986,794	543,106,614	25,272,270	60,880,180
	計	675,200,453	46,434,280	20,080,000	701,554,733	619,971,203	33,460,707	81,583,530
固定無 形 資産	ソフトウェア	9,449,000	288,000		9,737,000	6,775,433	1,010,400	2,961,567
	その他	9,716,100			9,716,100	8,366,667	500,000	1,349,433
	計	19,165,100	288,000	0	19,453,100	15,142,100	1,510,400	4,311,000

1. 当期増加額のうち主なものは次の通りです。

工具器具備品	Cinegy Caputure PROターンキーシステム	2,050千円
リース資産	デジタルペイシステム(新横浜プリンスホテル)	7,584千円
リース資産	ハンリニア編集システム iMACPro他	19,670千円

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	4,503,385	7,163,733	7,324,188	4,342,930
退職給付引当金	47,031,417	4,850,404	3,135,500	48,746,321
賞与引当金	54,654,888	53,109,876	54,654,888	53,109,876

3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	摘要
役員報酬	44,034,348	
従業員給与賞与	452,208,996	
賞与引当金繰入	53,109,876	
退職給付費用・退職金	24,189,352	
法定福利費	74,369,040	
福利厚生費	7,017,933	
減価償却費	3,764,119	
賃借料	100,857,088	
業務委託費	40,624,249	
保険料	1,420,288	
運送費	4,161,230	
販売促進費	148,265,453	
交際費	13,309,715	
会議費	2,635,361	
旅費交通費	31,178,062	
通信費	9,150,940	
光熱水費	6,428,956	
事務用品消耗品費	3,355,233	
各種税金	1,469,077	
諸会費	9,722,210	
修繕保守費	8,021,622	
器具費	3,069,174	
印刷図書費	3,488,454	
人材教育費	4,246,653	
報酬手数料	2,673,967	
環境衛生費	672,090	
貸倒引当金繰入額	2,575,117	
雑費	2,373,772	
販売費及び一般管理費合計	1,058,392,375	

監査報告書

2019年4月1日から2020年3月31日までの第15期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私は、取締役および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社および主要な事業所において業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告およびその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表）およびその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

二 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、会社の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2020年5月20日

株式会社 WOWOW プラス

監査役 尾上 純一 (印)